

世界遺産学学位プログラム(博士前期課程)

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	
0A00103	研究倫理		4	1.0	1 - 5	春BC	随時	岡林 浩嗣, 大須賀 壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動ととりまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)
0ATV001	世界遺産論		1	2.0	1・2	春AB	水2,3	下田 一太, 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 滝沢 誠, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敏也, 八木 春生, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	本科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程1年次の必修科目である。世界遺産学学位プログラム教員の研究の紹介のほか、学生の研究発表等を予定する。国際遺産学・遺産の評価と保存・マネジメントとプランニングの各分野に分かれて議論を行い、研究に必要な基本的視点を確立する。また、最新の遺産保護・活用事例に関する研究・報告やサイトへの実際の見学を通じて、最先端の研究に触れる。履修生は、最終2週において、研究対象となりうるテーマについて発表することを求められる。	英語運用能力が必要な場合もある。(日本語話者向け) 2026年度は対面講義を予定する。特定の理由がある者は必要に応じてオンデマンド受講可能である。
0ATV002	世界遺産特別演習		2	3.0	1	通年	随時	下田 一太, 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 松井 敏也, 八木 春生, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	本科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程1年次の必修科目である。本科目の演習時間数は、研究室ゼミの参加と、年1回(例年1月後半~2月前半)実施する「修士論文進捗発表会」での発表・質疑応答に該当する。配属された各研究室ゼミでの専門書、先行研究の論文講読や合宿、研究発表等を行うことが求められる。これらの参加により、研究テーマや手法を決める。また、論文講読を通じて、学術調査や論文執筆の基礎的スキルを身につける。履修生は「修士論文進捗発表会」にて修士論文研究テーマについて発表することを求められる。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 2026年度は対面講義を予定する。特定の理由がある者は必要に応じてオンデマンド受講可能である。
0ATV003	世界遺産特別研究		2	6.0	2	通年	随時	下田 一太, 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 松井 敏也, 八木 春生, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	本科目は、世界遺産学学位プログラム博士前期課程2年次の必修科目である(1年次の履修は認めない)。修士2年次には、指導教員等から修士論文の研究についてゼミ等で定期的に学術指導を受け、ゼミ発表や修士論文中間発表を経て、修士論文作成と12月の提出を行い、中間発表、修論個別審査、および公開発表において発表を行い、審査を受けることが求められる。なお、論文担当委員の指示をよく聞くこと。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 2026年度は対面講義を予定する。特定の理由がある者は必要に応じてオンデマンド受講可能である。

選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	
0AS0306	世界遺産を科学する		1	1.0	1・2	秋AB	火2	下田 一太, 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 松井 敏也, 八木 春生, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	本講義では、世界遺産(文化遺産・自然遺産)に関する学術的調査・研究の進展や現状と課題、そして保護・利用・活用等における実務的な諸課題・解決方法を、人文社会科学(芸術学・地理学・保存科学)・自然科学(生態学・保存科学)・工学(建築学・建築保存学・造園学)等の観点から多角的・学際的に考究する。	対面 2026年度は対面での実施を予定する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATV101	文化遺産論	1	1.0	1・2	秋AB	木2	下田 一太	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。履修する大学院生は、文化遺産保護の理念と制度を理解するだけではなく、現代社会における文化財保護についてのディスカッションに参加し、意見を述べるができるようになることが求められる。	対面
OATV102	文化遺産演習	2	2.0	1・2	春B 夏季休業中	集中	黒田 乃生	本演習は世界文化遺産の保護の現状について体験を通じて学ぶことにある。1995年に世界遺産リストに登録された「白川郷五箇山の合掌造り集落」およびその周辺集落において維持管理活動の体験および実際に文化遺産がある地域で生活する関係者、文化財保護の担当者、まちづくりの団体との交流や聞き取りを通して、世界遺産保護の手法を学び、意義および課題について考察する。現地実習の前には現地について学ぶ課題を提出し、実習後には演習で体得した文化遺産保護の課題についてレポートを提出させる。	6/30/ 4限(学内ガイダンス). 9/10-9/13(学外演習) 対面
OATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春B	集中	澤田 聖人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性について考察する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセーフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	
OATV104	自然遺産演習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中	澤田 聖人	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。自然遺産地域の管理計画、科学委員会・地域連絡会議を通じた専門家、地方自治体、地域住民、NPOなどの役割分担と協働、外来種対策やエコツーリズムなどの事例を現地調査から学ぶ。	
OATV105	宗教論	1	1.0	1・2	秋C	集中	松井 圭介	近年、注目を集めるようになってきている世界における宗教とツーリズムとの関係をめぐる研究動向を紹介しながら、日本の世界遺産を事例に両者の関係を整理・検討する。とりわけ、世界文化遺産に登録された紀伊山地熊野古道、長崎・雲仙の潜伏キリシタン関連遺産などの事例をもとに、宗教遺産が観光資源として対象化される過程やその問題点を考える。本年度は、現地視察を実施し、上記に関する実践的な理解を深めることを主目的とする。	1/30-1/31
OATV106	無形遺産論	1	1.0	1・2	秋A	集中	池田 真利子, 宮田 繁幸, 石村 智	UNESCO無形文化遺産保護条約の概念、体制やその変遷、また国内外の無形文化遺産の事例に関する知識の習得を通して、無形遺産への理解を深化させ、無形遺産が持つ文化的価値について考察する。偶数年度である2026年度は、東京文化財研究所において実務の立場から研究に従事する2名の先生を講師としてお招きし、授業の一部を東京文化財研究所において実施する。	【授業スケジュール詳細】10月10日(土)@筑波大学人文社会科学系棟B218講師:宮田繁幸先生(東京福祉大学, 東京文化財研究所)10月17日(土)@筑波大学人文社会科学系棟B218講師:宮田繁幸先生(東京福祉大学, 東京文化財研究所)11月7日(土)3~5限@筑波大学人文社会科学系棟B218講師:石村智先生(東京文化財研究所など)11月8日(日)1~2限@東京文化財研究所 <a href="https://www.tobunken.go.jp/japanese/navi/map.html">https://www.tobunken.go.jp/japanese/navi/map.html</a> 講師:石村智先生(東京文化財研究所など) 含野外調査 実務経験教員 対面 2026年度は対面講義を予定する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考	
OATV107	遺産保護行政論		1	1.0	1・2	秋A	集中	下田 一太	日本の遺産保護に関わる政策、行政システム、遺産保護制度の体系や保護の方法について理解する。文化庁の遺産保護担当者から、直接、遺産保護に関わる法制度、行政のシステムに加えて、具体的な遺産保護の事例についてその経験を伺い、日本の遺産保護行政の成果と課題について学ぶ。	10~12月中に実施予定 実務経験教員 対面
OATV109	世界遺産学インターンシップ(長期)		3	3.0	1・2	通年	応談	下田 一太, 池田 真利子, 黒田 乃生, 飯田 義彦, 伊藤 弘, 上北 恭史, 松井 敏也, 八木 春生, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	遺産の保存・活用に関わる行政機関・法人やサイト等において実地研修を行ない、現場でのノウハウを学ぶこと等が求められる。インターンシップ先の代表的なものには、世界遺産保全に関する行政機関・コンサルティング、研究所、テレビ局、博物館・美術館等がある。研修先の選択にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意すること。研修機関からの評価を考慮し、インターンシップの成果を評価する。インターンシップの期間の目安は3週間~9週間とする。	英語運用能力が求められる場合がある。(日本語話者向け)
OATV110	Global Learning: Heritage, Creativity and Art(グローバルに学ぶヘリテージ、創造性とアート)		4	1.0	1・2	秋A	火4,5	池田 真利子, 上北 恭史, 松井 敏也, 渡 和由, 大谷 悠, グロス アンネ, 松井 圭介, 北原 格	本科目は、「Creativity and Art(創造性とアート)」をキーワードとし、ヘリテージ学に関わる文理横断的な学術・学際的研究視点を日本語と外国語で学ぶことにある。そこで、「Designing Heritage Research」のテーマと関連付け、各年の学生/教員の関心や時流に合ったテーマを設定し、当該テーマに関する研究視点や事例、モデル等を学生と議論しながら解説する。2025年度は、ヘリテージ学の「課題」に焦点を当て、地理学(地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査)・建築デザイン学(材料・構造・デザイン史・フィールド科学)・保存科学(行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法)を中核とし、上述の学域以外の研究者ら(メディア学・建築学・デザイン学等)も交えて、概念・理論から実践的事例まで幅広く紹介し、議論を行う。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 対面 対面(オンライン併用型) オンライン(同時双方向型) 2026年度は対面講義(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV111	Global Project: Designing Heritage Research(グローバルに考究するヘリテージ研究デザイン)		7	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 春季休業中 夏季休業中	集中	池田 真利子, 上北 恭史, 松井 敏也	本科目のねらいは、「Creativity and Art(創造性とアート)」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学/現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組む経験を得ることができる。また、「Global Creativity and Art(創造性とアート)」と連携させることにより、国際的な学術議論を無理なく考えに取り組むことができる。 なお2026年度は、ヘリテージ学の「課題」に焦点を当て、地理学(地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査)・建築デザイン学(材料・構造・デザイン史・フィールド科学)・保存科学(行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法)を中核とし、フレキシブルなチーム(研究・情報メディア記録・提案)に分かれ、地域貢献における発展性を意識した学術的成果へと繋げる予定である。本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行う。	一定の基準を設け、履修生数を限定する場合がある。オンライン(同時双方向型)および対面の併用: および学外演習(東京都・茨城県・長崎県や市区行政、東京都荒川区・台東区および茨城県つくば市近郊の未活用遺産サイト等)英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 英語で授業。 2026年度は対面講義(国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV201	Global Heritage Studies(国際遺産論)		1	1.0	1・2	秋B	火4,5	肥後 時尚	本講義では、歴史、哲学、公共政策など現代のグローバル社会における文化遺産保護を総合的にとらえて講述し、文化遺産のあり方について多角的な考え方を学ぶ。エジプトの文化遺産に焦点を当てながら、世界遺産条約などの国際的な条約から各国の保護政策まで取り上げる。	
OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention(ユネスコと世界遺産条約)		1	1.0	1・2	秋A	集中	上北 恭史, 飯田 義彦, 池田 真利子	ユネスコ世界遺産条約は、国際遺産分野で最も影響力のある制度として、個々の遺産の保護・保全の実際から、各国の遺産政策や行政の展開に至るまで、加盟国に重要な指導的枠組みを提供してきた。本講義では、世界遺産条約の歴史、理念、運用スキームを網羅しながら、世界遺産条約とその周辺で展開された国際的な議論の全体像を解説する。	非常勤講師: 稲葉信子 10/9-10/10
OATV203	World Heritage and International Cooperation(世界遺産と国際協力)		1	1.0	1・2	春BC	集中	飯田 義彦, 池田 真利子, 肥後 時尚	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ。合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	非常勤講師: 長岡正哲(ユネスコ)外部講師: 長谷川基裕(JICA) 英語で授業。6月7月に開講予定 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATV204	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1	1.0	1・2	秋AB	木3	池田 真利子	本講義では、1) 現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2) その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3) 世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4) 世界遺産の多様化、5EUにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現され得るのかを考えることを目標とする。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 対面 オンライン(同時双方向型) 2026年度は対面講義(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV205	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1	1.0	1・2	秋B	集中	飯田 義彦	持続可能性概念について理論的背景、制度、様々な地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において社会実装を展開する際の持続可能性概念やグローバルな公共政策をふまえた視点を養う。さらに、持続可能な地域づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来方策についての自身の考えを深める。	英語で授業。 英語で授業。 11/14-11/15
OATV206	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)	1	1.0	1・2	秋B	木4,5	池田 真利子, 飯田 義彦, 肥後 時尚	修士・博士課程の学生は、ドイツやイタリアなどの西欧諸国だけでなく、旧東ドイツなどの東欧諸国やインドなどの南欧諸国における最近の国家的・地域的・地域的背景を知ることで、現代の「グローバル世界」において遺産とアイデンティティがどのように関連しているかを学ぶ。遺産保存の分野では、市民参加に根ざした実践は、特に1980年代以降、特定の地域的・政治的文脈によって、多くの成果を上げてきた。しかし、実利主義的な学術的言説は、国や地域の文脈を無視する傾向があり、「遺産化」や「組織化」に伴う対立も生じている。本講演では、30年以上にわたって実践的、理論的、そして学術的な見解に基づいて遺産学という学問分野を発展させてきたLeo Schmidt教授, Alexandra Skedzuhn-Safir教授(いずれもドイツBTU), Jens Casper教授ら(エアフルト応用科学大学)の協力を得て、オンライン上でさらに学術的な議論を展開する。JASSO応募に際しての必須科目に設定。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け)参考)IELTS総合スコアが6.5程度。 英語で授業。 対面 オンライン(同時双方向型) 2026年度は対面講義(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)	1	1.0	1・2	春BC	集中	飯田 義彦, 堀江 正彦, 池田 真利子, 肥後 時尚	生物多様性保全や気候変動問題などの地球環境の保全や遺産の保護と開発に関する国際条約、ならびに世界中の様々な国々の事例研究を通じて、急速に変化する社会状況に応じて、遺産と共存しながらどのように環境を保全し、持続的な社会を実現するかを学ぶ。	「非常勤講師:堀江正彦, 外部講師:鈴木渉 英語で授業。6月~7月に実施予定 英語で授業。 対面
OATV208	Project Practice in UNESCO-designated Area(ユネスコ地域演習)	2	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中	飯田 義彦	ユネスコエコパークやユネスコ世界ジオパークに登録された地域を訪問し、自然や文化の遺産保全と持続可能な地域づくりとのバランスを取るための実践的な方策について、現地の関係者の取組や国際的な取組の双方から学ぶ。	現地実習(石川県白山市)英語で授業。 英語で授業。 8/1-8/7
OATV209	Advanced Practice of Heritage Studies (市民参加研究演習)	7	3.0	1・2	通年	集中	池田 真利子	本演習は「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ国内外の学術的視点や知識に基づき、海外(主としてドイツ等の西ヨーロッパ)や国内のフィールドを実際に訪れ、より実践的に研究方法を習得することを目的とする。本科目のねらいは、OATV204「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学/現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組み経験を得ることができる。また、海外フィールド調査において、「自分が知りたいこと」の情報を得るため、英語やその他の国の言語能力を使用することで、国際的な学術議論を無理なく行うことができるようになる。なお本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行う。	英語運用能力が求められる。(日本語話者向け) 英語で授業。 対面 オンライン(同時双方向型) 2025年度は対面(教室で国内外の大学とオンラインで接続する可能性はある)を予定する。隔年度実施。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
OATV301	建築遺産論	1	1.0	1・2	春AB	木2	下田 一太	多様な歴史的背景や環境条件、意匠の特徴や利用可能な材料の特性に根差した建築遺産の理解、分析、調査、記述の方法と視覚化、評価の方法を学び、そうした歴史的建造物の意義や価値を保存・継承するための修理や復元の理念と技術、それらを伝達するための整備や再生の幅広い手法や技術について、国内外の世界文化遺産を含む建築遺産を事例として理解する。授業を通じて、各自が関心を有する建築遺産に対して、必要とされる調査を実践的に適用するための知識を習得し、保存や活用のための具体的な提案ができるようになることを到達目標とする。	対面
OATV302	建築遺産演習	2	3.0	1・2	春C	集中	下田 一太	建築遺産や周辺環境、建築と人との関係性を測量、記録し、図面化する手法について実践を通じて学ぶ。また、それらの記録や各種表現を、建築遺産やその地域の保存や活用のために利用し、提案を関係者に共有し議論する一連の過程を経験する。それらの過程において、建築遺産の研究や修復、活用における幅広い課題を理解し、建築の構造や意匠、技法の特質、建築空間の利用方法等を調査・分析する能力を養う。多様な専門的知識や技術を横断的に連携し、取り組む必要のある建築遺産の保存と活用の体験を通じて、多様な関係者と協働し、建築遺産の保護と活用に寄与することができるようにする。	学外の建築遺産にて実施。7月~9月に予定。 対面
OATV303	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された雲岡石窟や龍門石窟を対象とする。この授業では、その中でも北魏時代(439年から534年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで評価を行う。それぞれの石窟がいかなる目的のために、またいかなる人々のために開かれたか、そのためにいかなる工夫がなされたかを明らかにする。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、中国北魏時代の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	対面
OATV304	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、龍門石窟などの、唐時代前期(618年から655年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで、これらの石窟の評価を行う。敦煌莫高窟唐前期諸窟や、龍門石窟唐前期諸窟のほとんどは、北魏時代に国家により開かれた雲岡石窟と異なり、民間による造営である。浄土教が流行したこの時期に、人々がいかなる目的を持って造営し、またそれらの人々の要求を満足させるためにどのような工夫がなされたかを考察する。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、唐時代前期の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	美術遺産論Iを履修した者に限る 対面
OATV305	美術遺産演習	2	2.0	1・2	秋A	集中	八木 春生	演習(学外)。中国の仏像や陶磁器を多く所蔵する東京国立博物館などで、作品を様々な角度から観察する。作品を見比べることで、制作された時代や地域を知るだけでなく、実物を見て制作した人の目的を考える。同時に、展覧会を企画した学芸員が何を意図し、何を重視して作品を展示したのかを考え、理解することで、自らの作品理解を深めていく。	美術遺産論Iを履修した者に限る 10/2-10/4 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATV306	保存科学概論	1	1.0	1・2	春C	木4,5	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。それにより、遺産や美術品の劣化や損傷し直し、その診断手法の確立、ならびに診断結果に対する総合的評価を立地環境と担当者らのスキルなどと併せて考慮する視野を構築することを旨とする。実践的処置技術については今後の社会及び環境変動を見据えた課題の抽出とその解決法を科学的に行う能力を習得する。	対面
OATV307	保存科学演習	2	2.0	1・2	春C夏季休業中	集中	松井 敏也	保存対象の活用状況や管理状態、地域の関わり方の調査から得られる課題を整理し、対象文化財の保存科学的調査を実施する。保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について、調査機器を用いての実地研修により習得させ、その分析、評価を関連分野の研究成果等と併せて総合的に考究させることを目指す。また世界遺産をはじめとする遺跡や博物館において、専門家らによる指導助言を受けながら現場レベルの保存科学実務を学び、習得した技術や能力をさらに発展させる。	保存科学概論を履修した者に限る 対面
OATV401	遺産整備計画論	1	1.0	1・2	春A	月4,5	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価し、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。教育の目標として、文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的考え方を学ぶ。授業の到達目標として、遺産保護制度の法令の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的・社会的価値を評価する能力、需要に適した活用方法の提案ができる能力を身につける。また遺産の復元の問題や国際協力事例について事例を基に議論し、遺産を活かした地域再生について対応できる人材の育成を重視する。	対面
OATV402	遺産整備計画演習	2	2.0	1・2	春ABC	集中	上北 恭史	遺跡や歴史保存地区などで実施されている遺産保護・活用事例に触れ、保存事業や地域再生、観光事業について考察を行い、遺産の保護と活用計画の立案について習得する。授業目標として、遺跡や歴史保存地区で行われている保存活動の実例について学び、保存や再生、活用方法について詳しく考察を行う。さらに遺産整備計画を立案できる能力をつける。到達目標として、遺産保存の実例に触れ、法律、条例、保存計画書の保存制度を手がかりに遺産保護の具体的手法について分析できるか確認する。また保護されている遺産の状況を分析し、保護における問題点や利用の手法を提案できる能力をレポート等で確認する。	4/17, 4/24, 5/15, 5/22, 5/29, 6/5
OATV403	文化的景観論	1	1.0	1・2	春AB	火4	黒田 乃生	遺産としては比較的新しい概念である文化的景観について、景観の概念の変遷、世界遺産における文化的景観をめぐる議論と現状、日本の文化財における文化的景観の定義と保護、景観と社会の関係などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。講義全体を通じて他の文化遺産と文化的景観の特徴の異同を考究するための緒を与える。保全や概念について、履修生とのディスカッションを通じて文化的景観の曖昧さや保護の課題について自ら考えることができるようにする。	対面
OATV404	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、歴史のかつ現状の課題および計画論等に関して概説を行うと同時に、観光の対象となる文化資源や自然環境について、世界遺産や指定文化財、自然公園など制度上の評価に捉われない評価の考え方を整理する。利用と保護が持続的に同時に求められる、自然および文化を活かし続ける観光のあり方や取り組み手法、それに基づく観光地整備の考え方について、具体的事例を取り上げながら、その効果と課題を踏まえて考察する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATV405	プランニング演習	2	3.0	1・2	春秋AB 夏季休業中	集中	伊藤 弘	自然および文化を、住民および来訪者がより深く理解できるような持続的な利活用方策に関して、特定の資源を対象に、広域的な周辺環境および対象資源について、課題の整理からテーマの設定、計画案の策定に至る一連の作業をグループワークを通して体験し、計画の考え方や作業の流れ、評価方法を理解する。また、毎回進捗報告会を実施することで、各自の考え方や主張を他者に分かりやすく伝えるプレゼンテーションのやり方と、計画案に関するディスカッションを体験する。	7/24 13時・9/8-10(現地:白川・五箇山(2泊3日))・10/5,10/19,11/2,11/16,11/30,12/7(いずれも月曜5限以降) 対面
OATV406	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	秋AB	集中	三ツ井 聡美	自然遺産や文化遺産の価値を伝えるインタープリテーションの学術的背景や概念について学ぶ。また、筑波大学内を事例地にしてインタープリテーションのスキルの向上をはかる。	対面
OATV501	世界遺産学インターンシップ(短期)	3	1.0	1・2	通年	応談	下田 一太, 池田 真利子, 上北 恭史, 黒田 乃生, 八木 春生, 松井 敏也, 伊藤 弘, 飯田 義彦, 肥後 時尚, 三ツ井 聡美, 澤田 聖人	遺産の保存・活用に関わる行政機関・法人やサイト等において実地研修を行ない、現場でのノウハウを学ぶこと等が求められる。インターンシップ先の代表的なものには、世界遺産保全に関する行政機関・コンサルティング、研究所、テレビ局、博物館・美術館等がある。研修先の選択にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意すること。研修機関からの評価を考慮し、インターンシップの成果を評価する。インターンシップの期間の目安は1週間~3週間とする。	英語運用能力が求められる場合がある。(日本語話者向け)

Master's Program in Heritage Studies

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV001	World Heritage Studies	1	2.0	1, 2	SprAB	Wed2, 3	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Makoto Takizawa, Katsutoshi Nonaka, Keisuke Matsui, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This seminar is compulsory in the first year of the Master's Degree Programme in Heritage Studies. In addition to an introduction to the research of the faculty, the course will include student research presentations. Discussions will be divided into the fields of "international heritage studies", "heritage evaluation and conservation", "management and planning", to establish the basic perspectives required for research. Students will also be exposed to cutting-edge research through studies and reports on the latest heritage conservation and utilisation case studies and actual visits to sites. In the final two weeks, students are required to give a presentation on a potential research topic.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take courses on demand as needed.
OATV002	Special Seminar on World Heritage Studies	2	3.0	1	Annual	by request	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This subject is compulsory in the first year of the Master of Heritage Studies degree programme. The number of hours of exercises in this course corresponds to the participation in laboratory seminars and the presentation and question-and-answer session at the 'Master's thesis progress presentation' held at the beginning of February each year. Students are required to read specialised books and papers on previous research in each laboratory seminar to which they are assigned, to attend camps and to make research presentations. Through participation in these activities, students decide on research themes and methods. In addition, students acquire basic skills in academic research and thesis writing through the reading of theses. Once a year, from the end of January to the beginning of February, students are required to give a presentation on their own master's research theme.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take the course online as needed.
OATV003	Special Research for World Heritage Studies	2	6.0	2	Annual	by request	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This subject is compulsory for the second year of the Master's Degree Programme in Heritage Studies (student of 1st grade may not register this course). In the second year of master's degree, students receive regular academic guidance from their supervisors and others in seminars on their master's thesis research, and after seminar presentations and interim master's thesis presentations, they are required to prepare and submit their master's thesis in December, which must be examined in the final examination. Please note that you should follow carefully to the instructions of your dissertation committee member (2022-2023: Prof. Dr. Ichita Shimoda).	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take the course online as needed.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
---------------	-------------	------	---------	------------------------	----------------------	--------------------	------------	-----------------	---------

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV101	Cultural Heritage Theory and Policy Studies	1	1.0	1, 2	Fall/AB	Thu2	Ichita Shimoda	This course focuses on the protection of cultural heritage, covering the concept of heritage, the principles of preservation, an overview of protection systems in Japan and other countries, and the historical context leading up to the present. Through these topics, students will examine the role of cultural heritage in contemporary society, its current state, and future prospects. Students taking this course are expected not only to understand the principles and systems of cultural heritage protection but also to actively participate in discussions on the preservation of cultural properties in modern society and articulate their own perspectives.	face-to-face
OATV102	Seminar for Preservation of Cultural Heritage	2	2.0	1, 2	SprB Sum Vac	集中	Nobu Kuroda	The purpose of this training is to gain an understanding of the current state of World Cultural Heritage protection through hands-on experience and to study the significance and challenges of heritage conservation methods. Students will engage in maintenance and management activities at the "Historic Villages of Shirakawa-go and Gokayama," inscribed on the World Heritage List in 1995, and its surrounding areas. They will also interact with and interview local residents, cultural property conservation professionals, and community development organizations. Through these activities and interactions, students will explore the practical aspects of World Heritage conservation, its significance, and the challenges involved. Before the fieldwork, students are required to submit an assignment to familiarize themselves with the site. After the training, they must submit a report summarizing the cultural heritage protection issues they identified during the exercise.	6/30/ 4限(学内ガイダンス), 9/10-9/13(学外演習) face-to-face
OATV103	Natural Heritage Studies	1	1.0	1, 2	SprB	Intensive	Kiyoto Sawada	Learn the basic concept of nature conservation and biodiversity conservation which is base of natural heritage conservation and discuss the relationship of natural heritage and relevant conservation measures, especially on natural heritage criteria, the list of world heritage in danger, monitoring of alien species and climate change, network of protected areas and transboundary natural heritages.	
OATV104	Seminar on Natural Heritage	2	2.0	1, 2	Sum Vac	Intensive	Kiyoto Sawada	Through the field work at Chichijima, Ogasawara Island, student will learn the conservation and management of natural heritage and the participation of communities and experts, role of management plan, scientific council and regional liaison committee that connect the national and regional government, community, non-profit organization who dedicated for invasive species control and ecotourism.	

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV105	Religious Studies	1	1.0	1, 2	Fall/C	Tue3, 4	Keisuke Matsui	This course explores the growing academic interest in the relationship between religion and tourism on a global scale. By examining research trends in this field, students will analyze and evaluate the interactions between religion and tourism, using examples from Japan's World Heritage sites. In particular, the course will focus on case studies such as the Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range, and the Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region, including Unzen. Through these examples, students will examine the process by which religious heritage is transformed into a tourism resource and discuss the associated challenges.	
OATV106	Intangible Heritage Studies	1	1.0	1, 2	Fall/A	Intensive	Mariko Ikeda, Shigeyuki Miyata, Tomo Ishimura	Through the acquisition of knowledge on the concept, system and evolution of the UNESCO Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage and various cases of intangible cultural heritage at home and abroad, the course deepens the understanding of intangible heritage and examines the cultural value of intangible heritage. In the even-numbered year 2026, two professors who are engaged in research from a practical standpoint at the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, will be invited as guest lecturers and part of the lessons will be conducted at the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo.	Japanese language operational skills are preferred. Miyata Shigeyuki 10/10, 10/17, Ishimura Satoshi 11/7, 8. Including field survey Work Experience faculty face-to-face lectures are planned for AY2026.
OATV107	Policy and Administrative Systems for Protection of Heritage	1	1.0	1, 2	Fall/A	Intensive	Ichita Shimoda	Understand the policies and administrative systems related to heritage protection in Japan, as well as the system of heritage protection systems and methods of protection. Learn about the achievements and challenges of the heritage protection administration in Japan by hearing from a person in charge of heritage protection at the Agency for Cultural Affairs about his/her experiences regarding the legal system, administrative system, and specific examples of heritage protection.	October to December. Work Experience faculty face-to-face
OATV109	Internship in the Field of Heritage (Long-term)	3	3.0	1, 2	Annual	by appointment	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	Interns are required to undertake on-the-job training at administrative bodies, corporations and sites involved in the conservation and utilization of heritage sites, and to learn on-the-job know-how. Typical internship sites include administrative and consulting institutions, research institutes, TV stations, museums and art galleries, etc. related to World Heritage conservation. In selecting an internship placement, the relevance to the subject of the master's thesis research should be taken into account. The results of the internship are evaluated taking into account the evaluation by the training organization. The duration of intern is about 3~9 weeks	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers)

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV110	Global Learning: Heritage, Creativity and Art	4	1.0	1, 2	Fall A	Tue4, 5	Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Kazuyoshi Watari, 悠大谷, Anne Gross, Keisuke Matsui, Itaru Kitahara	<p>This is a hybrid online lecture-based course, which introduces inter- and interdisciplinary academic concepts, approaches, and case studies towards future-oriented heritage studies. Theme/s provided within this course will be changed every year. This course aims to provide students with an opportunity to learn about cross-cultural and international and interdisciplinary perspectives on heritage studies with the keyword "Creativity and Art" in Japanese and English. In addition to the theme of the "Designing Heritage Research" exercise, we will set a theme that matches the interests and current trends of each year's students and faculty, and discuss on theory, practices, case studies, and models.</p> <p>As 2025, the focus will be on the "revitalization of Heritage", with Geography (regional spatial transformation, urban culture, regional field research), Architectural Design (materials, structure, design history, field science), and Conservation Science (administrative collaboration, problem-solving science, scientific research methods) at the core, and researchers from fields other than above-mentioned those will be invited to participate. We will also include researchers from other disciplines (media studies, architecture, design studies, etc.) to introduce and discuss a wide range of topics from concepts and theories to practical examples. This is one of required subjects for JASSO applications.</p>	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) Face-to-face face-to-face (partially online) Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for FY2026.
OATV111	Global Project: Designing Heritage Research	7	2.0	1, 2	Fall A Fall B Fall C Spr Vac Sum Vac	集中	Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui	<p>This is a hybrid online practical course, which introduces inter- and interdisciplinary academic methodologies towards future-oriented heritage studies. Theme/s provided within this course will be changed every year.</p> <p>As 2026, the focus will be on the "utilization" of heritage, with geography (regional spatial transformation, urban culture, regional field research), architectural design (materials, structure, design history, field science), and conservation science (administrative collaboration, problem-solving science, scientific research methods) at the core, and a flexible team (research, information media recording, scientific research methods). The team will be divided into flexible teams (research, information media recording, proposals), which will lead to academic results with an awareness of the potential for development in regional contributions.</p> <p>In this course, students learn in groups, making the most of special tablet devices and recording equipment.</p>	On-line exercises and work at the Project Room (A212, Collaborative Research Building) and other unused facilities in the University of Tsukuba (Microsoft TEAMS/STREAM is used for on-line exercises). and external exercises at unused heritage sites in Tokyo, Ibaraki and Nagasaki prefectures, municipalities, Arakawa and Taito wards in Tokyo, and Tsukuba City, Ibaraki Prefecture. Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) Lectures are conducted in English. Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities) are planned for AY2026.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV201	Global Heritage Studies	1	1.0	1, 2	Fall B	Tue 4, 5	Tokihisa Higo	Encompassing history, philosophy and public policies, the lecture series is about the overall picture of heritage protection in contemporary society. It deals with a range of activities from the level of international organizations including the World Heritage Convention to those of the national heritage policies of different countries.	
OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention	1	1.0	1, 2	Fall A	Intensive	Yasufumi Uekita, 義彦 飯田, Mariko Ikeda	As the most influential instrument in the international heritage field, the UNESCO World Heritage Convention has been providing an important instructive framework to the member countries, from actual protection and conservation of individual heritage sites to the development of national heritage policies and administrations of countries. Encompassing history, philosophy and operational schemes, the lecture provides an overall picture of the international discussions developed in and around the World Heritage Convention.	非常勤講師: 稲葉信子 10/9-10/10
OATV203	World Heritage and International Cooperation	1	1.0	1, 2	Spr BC	Intensive	義彦 飯田, Mariko Ikeda, Tokihisa Higo	Through the case of international/global cooperation related to cultural/natural heritages, we shall learn the outcomes and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation. In addition, Japanese case of international cooperation will be also introduced.	Part-time Lecturer: Masanori Nagaoka (UNESCO) External Lecturer: Motohiro Hasegawa (JICA) Lecture is conducted in English. June to July (not fixed) Lectures are conducted in English.
OATV204	World Heritage and Civil Participation	1	1.0	1, 2	Fall AB	Thu 3	Mariko Ikeda	In this lecture, participants will develop their own opinions about what kind of civil participation for World Heritage could be realized and in which way, (i) by learning which tasks and regional conflicts the World Heritage (especially cultural heritage and landscape) faces precisely, (ii) by considering the historical, architectural, sociological and geographical context of certain case studies, (iii) by exploring civil engagement and participation for the preservation of cultural heritage other than the UNESCO World Heritage, and the diversification of World Heritage, and (iv) by understanding the upcoming heritage policies (inc. cultural and economic policy and urban regime) in the EU countries. This is one of required subjects for JASSO applications.	face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for AY2026.
OATV205	World Heritage and Sustainability	1	1.0	1, 2	Fall B	Intensive	義彦 飯田	In this lecture, students will be expected to learn the concept of sustainability from theoretical background, various international conservation instruments and local cases, and to develop perspectives grounded in sustainability concepts and global public policy when implementing social implementations in the management of natural and cultural heritages. Moreover, students will be encouraged to establish your own idea on better future action and the global-local partnership for sustainable society.	Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English. 11/14-11/15

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV206	Role of International Organizations and NGOs	1	1.0	1, 2	Fall B	Thu4, 5	Mariko Ikeda, 義彦 飯田, Tokihisa Higo	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization (遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation (組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, Dr. Alexandra Skedzuhn-Safir (BTU), and Dr. Jens Casper (Fachhochschule Erfurt University of Applied Sciences) who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	Lecture is conducted in Japanese with English. Lectures are conducted in English. Face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for AY2026.
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation	1	1.0	1, 2	Spr BC	Intensive	義彦 飯田, Masahiko Horie, Mariko Ikeda, Tokihisa Higo	Students will be expected to learn how we achieve sustainable society harmonized with heritage management and environmental conservation to respond rapidly changing society through the cases of various countries/regions and international conventions of global environmental conservation such as biodiversity conservation and climate change issues and heritage protection and development.	"Part-time Lecturer: Masahiko Horie External Lecturer: Wataru Suzuki Lecture is conducted in English. June to July (not fixed) Lectures are conducted in English. face-to-face
OATV208	Project Practice in UNESCO-designated Area	2	2.0	1, 2	Spr C, Sum Vac	Intensive	義彦 飯田	Students will be expected to learn the practical measurements to balance natural/cultural heritage conservation and sustainable development with both local and global perspectives to visit the designated area of UNESCO biosphere reserve and global geopark.	"Field visit in Hakusan city, Ishikawa prefecture. Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English. 8/1-8/7
OATV209	Advanced Practice of Heritage Studies	7	3.0	1, 2	Annual	Intensive	Mariko Ikeda	The aim of this course is to provide students with concrete and practical training in research methods and data acquisition in the university and field in relation to the research perspectives and themes set for each year in OATV204 "World Heritage and Civil Participation". Students not only learn the basics of regional research, but also gain experience in conducting field research on their own initiative. In addition, they will be able to use English and other national language skills to obtain information on "what they want to know" in overseas field research, and to engage in international academic discussions without difficulty. In this course, group study will be carried out by making the most of special tablet terminals and recording devices.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) Lecture is conducted in Japanese with English. Lectures are conducted in English. face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities) are planned for AY2026. Take place in every 2 years.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV301	Architectural Heritage	1	1.0	1, 2	SprAB	Thu2	Ichita Shimoda	The course aims to provide students with a comprehensive understanding of architectural heritage rooted in diverse historical contexts, environmental conditions, design characteristics, and the properties of available materials. Students will learn methods for analyzing, investigating, documenting, visualizing, and evaluating such heritage. The course will cover the principles and techniques for the preservation and restoration of historic buildings, as well as a wide range of approaches and technologies for their maintenance, revitalization, and communication of their significance and values. Examples will include architectural heritage, both domestic and international, including World Cultural Heritage sites. Through the course, students will acquire the knowledge necessary to practically apply investigation methods to architectural heritage of their own interest and develop concrete proposals for their preservation and utilization.	face-to-face
OATV302	Seminar on Architectural Heritage	2	3.0	1, 2	SprC	Intensive	Ichita Shimoda	This course provides practical training in methods for surveying, documenting, and drafting architectural heritage, its surrounding environment, and the relationship between architecture and people. Students will experience the entire process of utilizing these records and various representations to propose preservation and utilization strategies for architectural heritage and its regions, sharing and discussing their proposals with relevant stakeholders. Throughout this process, students will develop an understanding of the diverse challenges associated with the study, restoration, and utilization of architectural heritage. They will cultivate skills in investigating and analyzing architectural structures, design characteristics, construction techniques, and spatial usage. The course emphasizes the need for interdisciplinary collaboration, combining specialized knowledge and techniques, to address the preservation and utilization of architectural heritage. By engaging with diverse stakeholders, students will learn to contribute meaningfully to the protection and sustainable use of architectural heritage.	Conducted at off-campus architectural heritage sites. July to September. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV303	Art Heritage I	1	1.0	1, 2	SprAB	Tue3	Haruo Yagi	Lecture format (on campus). The Yungang Grottoes and Longmen Grottoes, recognized as World Heritage Sites in China, will be the subject of this course. This class will focus on the grottoes that were opened during the Northern Wei Dynasty (439-534). The grottoes will be analyzed from various angles in terms of cave form, style and form of statuary, and design, and evaluated through a comprehensive examination of these elements. The purpose of each grotto and the people for whom it was opened will be clarified, as well as the ingenuity with which the grottoes were constructed. Based on the particularities of each grotto extracted from this work, we will cultivate the ability to consider the conservation of grottoes that are appropriate for them. This will enable students to have a basic knowledge of representative grottoes of the Northern Wei period in China, and to be able to relate their conservation methods, such as utilization, to their own research based on the evaluation of these grottoes.	face-to-face
OATV304	Art Heritage II	1	1.0	1, 2	FallAB	Tue3	Haruo Yagi	Lecture format (on campus). The lecture will focus on grottoes that were opened in the early Tang Dynasty (618-655), including the Dunhuang Mogao Grottoes and the Longmen Grottoes, which were recognized as World Heritage sites in China. The grottoes will be evaluated by analyzing the grottoes from various angles and comprehensively examining elements such as cave formations, styles and forms of statues, and patterns. Unlike the Yungang Grottoes, which were opened by the state during the Northern Wei Dynasty, most of the Early Tang Dynasty caves at Mogao Grottoes in Dunhuang and the Early Tang Dynasty caves at Longmen Grottoes were constructed by private individuals. This study will examine the purposes for which people built these caves during the period when Pure Land Buddhism was prevalent, and how they devised ways to satisfy the needs of these people. Based on the particularities of each grotto extracted from this work, we will cultivate the ability to consider the conservation of grottoes that are suited to the particularities. Through this, students will be able to acquire basic knowledge of representative grottoes of the early Tang period and, based on the evaluation of these grottoes, be able to consider methods of conservation, such as utilization, in relation to their own research	Only for completed the Art Heritage I face-to-face
OATV305	Seminar on Art Heritage	2	2.0	1, 2	FallA	Intensive	Haruo Yagi	Exercise (off-campus). Observe works from various angles at museums such as the Tokyo National Museum, which has a large collection of Chinese Buddhist sculptures and ceramics. Through comparison of the works, students will not only learn about the period and region in which they were created, but they will also be able to consider the purpose of the people who created them by looking at the actual objects. At the same time, they will deepen their own understanding of the works by considering and understanding the intentions of the curators who planned the exhibition and what they emphasized in displaying the works.	Only for completed the Art Heritage I 10/2-10/4 face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV306	Conservation Science	1	1.0	1, 2	SprC	Thu4, 5	Toshiya Matsui	This lecture will discuss the history of conservation science, the state of conservation science and technology, and research methods, and will explain the conservation environment surrounding cultural properties, deterioration phenomena, and methods of conservation measures based on conservation and restoration case studies. The aim is to establish diagnostic methods for the deterioration and damage of heritage sites and artworks, and to develop a perspective that considers the overall evaluation of the diagnostic results in conjunction with the location environment and the skills of the people in charge. In terms of practical treatment techniques, students will acquire the ability to scientifically identify problems and their solutions in view of future social and environmental changes.	face-to-face
OATV307	Seminar on Conservation Science	2	2.0	1, 2	SprC, Sum Vac	Intensive	Toshiya Matsui	To conduct conservation science research on target cultural properties by organizing issues obtained from surveys on the state of utilization and management of conservation objects and the involvement of local residents. Practical training using survey equipment will be provided on material analysis methods, structural survey methods, and conservation environment survey methods, which form the basis of conservation science research, with the aim of comprehensively examining their analysis and evaluation together with research results in related fields. In addition, under the guidance and advice of experts, on-site practical training in conservation science will be conducted at World Heritage sites and other archaeological sites and museums to further develop the acquired skills and abilities.	Only for completed the Conservation Science face-to-face
OATV401	Project Development and Management of Heritage Sites	1	1.0	1, 2	SprA	Mon4, 5	Yasufumi Uekita	The course evaluates the historical value of heritage sites, discusses methods of conservation and environmental improvement of heritage sites, and examines the social protection system, methods of conservation of archaeological sites and buildings, and utilization plans for local redevelopment projects. The aim of the education is to learn the basic ideas for planning and carrying out appropriate conservation and management of cultural heritage through an understanding of the protection system and heritage values, with a focus on cultural heritage. The objectives of the course are to understand the laws and regulations of the heritage conservation system, to understand examples of conservation plans, to be able to evaluate the historical and social value of heritage, and to be able to propose methods of utilization suitable for the requirements of the heritage. The issues of heritage restoration and international cooperation will be discussed on the basis of case studies, and emphasis will be on training professionals who can deal with the issue of regional rehabilitation using heritage sites.	face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV402	Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites	2	2.0	1, 2	SprABC	Intensive	Yasufumi Uekita	In this seminar, attendees will be provided with examples of heritage conservation and utilization of archaeological sites and historic preservation areas, and will learn how to plan for the conservation and utilization of heritage by observing conservation projects, community revitalization, and tourism projects. The seminar's objective is to provide participants with examples of heritage conservation and to analyze specific methods of heritage conservation using laws, ordinances, and the conservation system of conservation planning buildings as a starting point. The participants will also be able to analyze the situation of conserved heritage sites and to propose solutions to conservation problems and methods of utilization.	4/17, 4/24, 5/15, 5/22, 5/29, 6/5
OATV403	Conservation of Cultural Landscape	1	1.0	1, 2	SprAB	Tue4	Nobu Kuroda	This lecture will provide foundational knowledge on cultural landscapes, a relatively new concept in heritage studies. Topics will include the evolution of the landscape concept, debates and the current status of cultural landscapes in World Heritage, the definition and protection of cultural landscapes in Japanese cultural property law, the relationship between landscapes and society, and case studies on the evaluation and conservation of cultural landscapes. The lecture will highlight the unique characteristics of cultural landscapes compared to other forms of cultural heritage. Through discussions with students, the course will encourage critical thinking about the ambiguity of cultural landscapes and the challenges involved in their protection.	face-to-face
OATV404	Heritage Tourism	1	1.0	1, 2	FallAB	Mon4	Hiromu Ito	The lecture will provide an overview of the terminology, significance, historical and current issues, and planning theories related to tourism, and at the same time, will organize ideas for evaluating cultural resources and natural environments that are the target of tourism, not limited to World Heritage sites, designated cultural properties, natural parks, and other institutional evaluations. The lecture will discuss the concept of tourism that continues to make the most of nature and culture, which are required to be used and protected at the same time in a sustainable manner, as well as the methods and approaches of tourism and the development of tourist attractions based on them, taking up specific examples and considering the effects and issues involved.	face-to-face
OATV405	Seminar for Preservation of Cultural Heritage	2	3.0	1, 2	SprC, FallAB, Sum Vac	Intensive	Hiromu Ito	Through group work, participants will experience a series of tasks from organizing issues, establishing themes, and developing a draft plan for a specific resource and the surrounding environment over a wide area, in order to understand the concept of the plan, the work flow, and evaluation methods. The participants will understand the concept of planning, work flow, and evaluation methods. In addition, progress report meetings will be held each time, allowing students to experience how to present their ideas and arguments in an easy-to-understand manner to others and how to discuss the draft plan.	24 July, 1pm: 9/8-10 (local: Shirakawa and Gokayama (3 days/2 nights)); 10/5, 10/19, 11/2, 11/16, 11/30, 12/7 (all after 5th period on Monday). face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV406	Heritage Interpretation	1	1.0	1, 2	Fall/AB	Intensive	Satomi Mitsui	Learn about the academic background and concepts of interpretation to communicate the value of natural and cultural heritage. The class will use the University of Tsukuba as a case study site to improve your interpreting skills through field study and presentations.	face-to-face
OATV501	Internship in the Field of Heritage (Short-term)	3	1.0	1, 2	Annual	by appointment	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Nobu Kuroda, Haruo Yagi, Toshiya Matsui, Hiromu Ito, 義彦 飯田, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	Interns are required to undertake on-the-job training at administrative bodies, corporations and sites involved in the conservation and utilization of heritage sites, and to learn on-the-job know-how. Typical internship sites include administrative and consulting institutions, research institutes, TV stations, museums and art galleries, etc. related to World Heritage conservation. In selecting an internship placement, the relevance to the subject of the master's thesis research should be taken into account. The results of the internship are evaluated taking into account the evaluation by the training organization. The duration of intern is about 1~3 weeks.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers)

Master's Program in Heritage Studies

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OA00103	Introduction to Academic Integrity	4	1.0	1 - 5	SprBC	by request	Koji Okabayashi, Sou Oosuka	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関する問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動を取りまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	Online (Asynchronous)
OATV001	World Heritage Studies	1	2.0	1, 2	SprAB	Wed2, 3	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Makoto Takizawa, Katsutoshi Nonaka, Keisuke Matsui, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This seminar is compulsory in the first year of the Master's Degree Programme in Heritage Studies. In addition to an introduction to the research of the faculty, the course will include student research presentations. Discussions will be divided into the fields of "international heritage studies", "heritage evaluation and conservation", "management and planning", to establish the basic perspectives required for research. Students will also be exposed to cutting-edge research through studies and reports on the latest heritage conservation and utilisation case studies and actual visits to sites. In the final two weeks, students are required to give a presentation on a potential research topic.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take courses on demand as needed.
OATV002	Special Seminar on World Heritage Studies	2	3.0	1	Annual	by request	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This subject is compulsory in the first year of the Master of Heritage Studies degree programme. The number of hours of exercises in this course corresponds to the participation in laboratory seminars and the presentation and question-and-answer session at the 'Master's thesis progress presentation' held at the beginning of February each year. Students are required to read specialised books and papers on previous research in each laboratory seminar to which they are assigned, to attend camps and to make research presentations. Through participation in these activities, students decide on research themes and methods. In addition, students acquire basic skills in academic research and thesis writing through the reading of theses. Once a year, from the end of January to the beginning of February, students are required to give a presentation on their own master's research theme.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take the course online as needed.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV003	Special Research for World Heritage Studies	2	6.0	2	Annual	by request	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This subject is compulsory for the second year of the Master's Degree Programme in Heritage Studies (student of 1st grade may not register this course). In the second year of master's degree, students receive regular academic guidance from their supervisors and others in seminars on their master's thesis research, and after seminar presentations and interim master's thesis presentations, they are required to prepare and submit their master's thesis in December, which must be examined in the final examination. Please note that you should follow carefully to the instructions of your dissertation committee member (2022-2023: Prof. Dr. Ichita Shimoda).	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) In FY2026, face-to-face lecture is planned. Those with specific reasons may take the course online as needed.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OAS0306	Investigating World Heritage	1	1.0	1, 2	Fall IAB	Tue2	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	This course provides a multidisciplinary and interdisciplinary study of the progress, current status and issues in academic research and studies of World Heritage (cultural and natural heritage), as well as practical issues and solutions in protection, utilisation and exploitation from the perspectives of the humanities and social sciences (arts, geography, conservation science), natural sciences (ecology, conservation science) and engineering (architecture, building conservation, landscape architecture).	face-to-face In FY2026, face-to-face lecture is planned.
OATV101	Cultural Heritage Theory and Policy Studies	1	1.0	1, 2	Fall IAB	Thu2	Ichita Shimoda	This course focuses on the protection of cultural heritage, covering the concept of heritage, the principles of preservation, an overview of protection systems in Japan and other countries, and the historical context leading up to the present. Through these topics, students will examine the role of cultural heritage in contemporary society, its current state, and future prospects. Students taking this course are expected not only to understand the principles and systems of cultural heritage protection but also to actively participate in discussions on the preservation of cultural properties in modern society and articulate their own perspectives.	face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV102	Seminar for Preservation of Cultural Heritage	2	2.0	1, 2	SprB Sum Vac	集中	Nobu Kuroda	<p>The purpose of this training is to gain an understanding of the current state of World Cultural Heritage protection through hands-on experience and to study the significance and challenges of heritage conservation methods. Students will engage in maintenance and management activities at the "Historic Villages of Shirakawa-go and Gokayama," inscribed on the World Heritage List in 1995, and its surrounding areas. They will also interact with and interview local residents, cultural property conservation professionals, and community development organizations.</p> <p>Through these activities and interactions, students will explore the practical aspects of World Heritage conservation, its significance, and the challenges involved. Before the fieldwork, students are required to submit an assignment to familiarize themselves with the site. After the training, they must submit a report summarizing the cultural heritage protection issues they identified during the exercise.</p>	6/30/ 4限 (学内ガイダンス), 9/10-9/13 (学外演習) face-to-face
OATV103	Natural Heritage Studies	1	1.0	1, 2	SprB	Intensive	Kiyoto Sawada	<p>Learn the basic concept of nature conservation and biodiversity conservation which is base of natural heritage conservation and discuss the relationship of natural heritage and relevant conservation measures, especially on natural heritage criteria, the list of world heritage in danger, monitoring of alien species and climate change, network of protected areas and transboundary natural heritages.</p>	
OATV104	Seminar on Natural Heritage	2	2.0	1, 2	Sum Vac	Intensive	Kiyoto Sawada	<p>Through the field work at Chichijima, Ogasawara Island, student will learn the conservation and management of natural heritage and the participation of communities and experts, role of management plan, scientific council and regional liaison committee that connect the national and regional government, community, non-profit organization who dedicated for invasive species control and ecotourism.</p>	
OATV105	Religious Studies	1	1.0	1, 2	FallC	Intensive	Keisuke Matsui	<p>This course explores the growing academic interest in the relationship between religion and tourism on a global scale. By examining research trends in this field, students will analyze and evaluate the interactions between religion and tourism, using examples from Japan's World Heritage sites.</p> <p>In particular, the course will focus on case studies such as the Sacred Sites and Pilgrimage Routes in the Kii Mountain Range, and the Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region, including Unzen. Through these examples, students will examine the process by which religious heritage is transformed into a tourism resource and discuss the associated challenges.</p>	1/30-1/31

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV106	Intangible Heritage Studies	1	1.0	1, 2	Fall/A	Intensive	Mariko Ikeda, Shigeyuki Miyata, Tomo Ishimura	Through the acquisition of knowledge on the concept, system and evolution of the UNESCO Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage and various cases of intangible cultural heritage at home and abroad, the course deepens the understanding of intangible heritage and examines the cultural value of intangible heritage. In the even-numbered year 2026, two professors who are engaged in research from a practical standpoint at the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, will be invited as guest lecturers and part of the lessons will be conducted at the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo.	Japanese language operational skills are preferred. Miyata Shigeyuki 10/10, 10/17, Ishimura Satoshi 11/7, 8. Including field survey Work Experience faculty face-to-face lectures are planned for AY2026.
OATV107	Policy and Administrative Systems for Protection of Heritage	1	1.0	1, 2	Fall/A	Intensive	Ichita Shimoda	Understand the policies and administrative systems related to heritage protection in Japan, as well as the system of heritage protection systems and methods of protection. Learn about the achievements and challenges of the heritage protection administration in Japan by hearing from a person in charge of heritage protection at the Agency for Cultural Affairs about his/her experiences regarding the legal system, administrative system, and specific examples of heritage protection.	October to December. Work Experience faculty face-to-face
OATV109	Internship in the Field of Heritage (Long-term)	3	3.0	1, 2	Annual	by appointment	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Nobu Kuroda, 義彦 飯田, Hiromu Ito, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Haruo Yagi, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	Interns are required to undertake on-the-job training at administrative bodies, corporations and sites involved in the conservation and utilization of heritage sites, and to learn on-the-job know-how. Typical internship sites include administrative and consulting institutions, research institutes, TV stations, museums and art galleries, etc. related to World Heritage conservation. In selecting an internship placement, the relevance to the subject of the master's thesis research should be taken into account. The results of the internship are evaluated taking into account the evaluation by the training organization. The duration of intern is about 3~9 weeks	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers)

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV110	Global Learning: Heritage, Creativity and Art	4	1.0	1, 2	Fall A	Tue 4, 5	Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui, Kazuyoshi Watari, 悠大谷, Anne Gross, Keisuke Matsui, Itaru Kitahara	<p>This is a hybrid online lecture-based course, which introduces inter- and intradisciplinary academic concepts, approaches, and case studies towards future-oriented heritage studies. Theme/s provided within this course will be changed every year. This course aims to provide students with an opportunity to learn about cross-cultural and international and interdisciplinary perspectives on heritage studies with the keyword "Creativity and Art" in Japanese and English. In addition to the theme of the "Designing Heritage Research" exercise, we will set a theme that matches the interests and current trends of each year's students and faculty, and discuss on theory, practices, case studies, and models.</p> <p>As 2025, the focus will be on the "revitalization of Heritage", with Geography (regional spatial transformation, urban culture, regional field research), Architectural Design (materials, structure, design history, field science), and Conservation Science (administrative collaboration, problem-solving science, scientific research methods) at the core, and researchers from fields other than above-mentioned those will be invited to participate. We will also include researchers from other disciplines (media studies, architecture, design studies, etc.) to introduce and discuss a wide range of topics from concepts and theories to practical examples. This is one of required subjects for JASSO applications.</p>	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) face-to-face face-to-face (partially online) Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for FY2026.
OATV111	Global Project: Designing Heritage Research	7	2.0	1, 2	Fall A Fall B Fall C Spr Vac Sum Vac	集中	Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Toshiya Matsui	<p>This is a hybrid online practical course, which introduces inter- and intradisciplinary academic methodologies towards future-oriented heritage studies. Theme/s provided within this course will be changed every year.</p> <p>As 2026, the focus will be on the "utilization" of heritage, with geography (regional spatial transformation, urban culture, regional field research), architectural design (materials, structure, design history, field science), and conservation science (administrative collaboration, problem-solving science, scientific research methods) at the core, and a flexible team (research, information media recording, scientific research methods). The team will be divided into flexible teams (research, information media recording, proposals), which will lead to academic results with an awareness of the potential for development in regional contributions.</p> <p>In this course, students learn in groups, making the most of special tablet devices and recording equipment.</p>	On-line exercises and work at the Project Room (A212, Collaborative Research Building) and other unused facilities in the University of Tsukuba (Microsoft TEAMS/STREAM is used for on-line exercises). and external exercises at unused heritage sites in Tokyo, Ibaraki and Nagasaki prefectures, municipalities, Arakawa and Taito wards in Tokyo, and Tsukuba City, Ibaraki Prefecture. Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) Lectures are conducted in English. Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities) are planned for AY2026.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV201	Global Heritage Studies	1	1.0	1, 2	Fall B	Tue4, 5	Tokihisa Higo	Encompassing history, philosophy and public policies, the lecture series is about the overall picture of heritage protection in contemporary society. It deals with a range of activities from the level of international organizations including the World Heritage Convention to those of the national heritage policies of different countries.	
OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention	1	1.0	1, 2	Fall A	Intensive	Yasufumi Uekita, 義彦 飯田, Mariko Ikeda	As the most influential instrument in the international heritage field, the UNESCO World Heritage Convention has been providing an important instructive framework to the member countries, from actual protection and conservation of individual heritage sites to the development of national heritage policies and administrations of countries. Encompassing history, philosophy and operational schemes, the lecture provides an overall picture of the international discussions developed in and around the World Heritage Convention.	非常勤講師: 稲葉信子 10/9-10/10
OATV203	World Heritage and International Cooperation	1	1.0	1, 2	Spr BC	Intensive	義彦 飯田, Mariko Ikeda, Tokihisa Higo	Through the case of international/global cooperation related to cultural/natural heritages, we shall learn the outcomes and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation. In addition, Japanese case of international cooperation will be also introduced.	Part-time Lecturer: Masanori Nagaoka (UNESCO) External Lecturer: Motohiro Hasegawa (JICA) Lecture is conducted in English. June to July (not fixed) Lectures are conducted in English.
OATV204	World Heritage and Civil Participation	1	1.0	1, 2	Fall A B	Thu3	Mariko Ikeda	In this lecture, participants will develop their own opinions about what kind of civil participation for World Heritage could be realized and in which way, (i) by learning which tasks and regional conflicts the World Heritage (especially cultural heritage and landscape) faces precisely, (ii) by considering the historical, architectural, sociological and geographical context of certain case studies, (iii) by exploring civil engagement and participation for the preservation of cultural heritage other than the UNESCO World Heritage, and the diversification of World Heritage, and (iv) by understanding the upcoming heritage policies (inc. cultural and economic policy and urban regime) in the EU countries. This is one of required subjects for JASSO applications.	face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for AY2026.
OATV205	World Heritage and Sustainability	1	1.0	1, 2	Fall B	Intensive	義彦 飯田	In this lecture, students will be expected to learn the concept of sustainability from theoretical background, various international conservation instruments and local cases, and to develop perspectives grounded in sustainability concepts and global public policy when implementing social implementations in the management of natural and cultural heritages. Moreover, students will be encouraged to establish your own idea on better future action and the global-local partnership for sustainable society.	Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English. 11/14-11/15

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV206	Role of International Organizations and NGOs	1	1.0	1, 2	Fall B	Thu 4, 5	Mariko Ikeda, 義彦 飯田, Tokihisa Higo	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization (遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation (組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, Dr. Alexandra Skedzuhn-Safir (BTU), and Dr. Jens Casper (Fachhochschule Erfurt University of Applied Sciences) who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	Lecture is conducted in Japanese with English. Lectures are conducted in English. Face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities in the classroom) are planned for AY2026.
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation	1	1.0	1, 2	Spr BC	Intensive	義彦 飯田, Masahiko Horie, Mariko Ikeda, Tokihisa Higo	Students will be expected to learn how we achieve sustainable society harmonized with heritage management and environmental conservation to respond rapidly changing society through the cases of various countries/regions and international conventions of global environmental conservation such as biodiversity conservation and climate change issues and heritage protection and development.	"Part-time Lecturer: Masahiko Horie External Lecturer: Wataru Suzuki Lecture is conducted in English. June to July (not fixed) Lectures are conducted in English. face-to-face
OATV208	Project Practice in UNESCO-designated Area	2	2.0	1, 2	Spr C, Sum Vac	Intensive	義彦 飯田	Students will be expected to learn the practical measurements to balance natural/cultural heritage conservation and sustainable development with both local and global perspectives to visit the designated area of UNESCO biosphere reserve and global geopark.	"Field visit in Hakusan city, Ishikawa prefecture. Lecture is conducted in English. Lectures are conducted in English. 8/1-8/7
OATV209	Advanced Practice of Heritage Studies	7	3.0	1, 2	Annual	Intensive	Mariko Ikeda	The aim of this course is to provide students with concrete and practical training in research methods and data acquisition in the university and field in relation to the research perspectives and themes set for each year in OATV204 "World Heritage and Civil Participation". Students not only learn the basics of regional research, but also gain experience in conducting field research on their own initiative. In addition, they will be able to use English and other national language skills to obtain information on "what they want to know" in overseas field research, and to engage in international academic discussions without difficulty. In this course, group study will be carried out by making the most of special tablet terminals and recording devices.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers) Lecture is conducted in Japanese with English. Lectures are conducted in English. Face-to-face Online (Synchronous) Face-to-face lectures (with the possibility of online connections to national and international universities) are planned for AY2026. Take place in every 2 years.

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV301	Architectural Heritage	1	1.0	1, 2	SprAB	Thu2	Ichita Shimoda	The course aims to provide students with a comprehensive understanding of architectural heritage rooted in diverse historical contexts, environmental conditions, design characteristics, and the properties of available materials. Students will learn methods for analyzing, investigating, documenting, visualizing, and evaluating such heritage. The course will cover the principles and techniques for the preservation and restoration of historic buildings, as well as a wide range of approaches and technologies for their maintenance, revitalization, and communication of their significance and values. Examples will include architectural heritage, both domestic and international, including World Cultural Heritage sites. Through the course, students will acquire the knowledge necessary to practically apply investigation methods to architectural heritage of their own interest and develop concrete proposals for their preservation and utilization.	face-to-face
OATV302	Seminar on Architectural Heritage	2	3.0	1, 2	SprC	Intensive	Ichita Shimoda	This course provides practical training in methods for surveying, documenting, and drafting architectural heritage, its surrounding environment, and the relationship between architecture and people. Students will experience the entire process of utilizing these records and various representations to propose preservation and utilization strategies for architectural heritage and its regions, sharing and discussing their proposals with relevant stakeholders. Throughout this process, students will develop an understanding of the diverse challenges associated with the study, restoration, and utilization of architectural heritage. They will cultivate skills in investigating and analyzing architectural structures, design characteristics, construction techniques, and spatial usage. The course emphasizes the need for interdisciplinary collaboration, combining specialized knowledge and techniques, to address the preservation and utilization of architectural heritage. By engaging with diverse stakeholders, students will learn to contribute meaningfully to the protection and sustainable use of architectural heritage.	Conducted at off-campus architectural heritage sites. July to September. face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV303	Art Heritage I	1	1.0	1, 2	SprAB	Tue3	Haruo Yagi	Lecture format (on campus). The Yungang Grottoes and Longmen Grottoes, recognized as World Heritage Sites in China, will be the subject of this course. This class will focus on the grottoes that were opened during the Northern Wei Dynasty (439-534). The grottoes will be analyzed from various angles in terms of cave form, style and form of statuary, and design, and evaluated through a comprehensive examination of these elements. The purpose of each grotto and the people for whom it was opened will be clarified, as well as the ingenuity with which the grottoes were constructed. Based on the particularities of each grotto extracted from this work, we will cultivate the ability to consider the conservation of grottoes that are appropriate for them. This will enable students to have a basic knowledge of representative grottoes of the Northern Wei period in China, and to be able to relate their conservation methods, such as utilization, to their own research based on the evaluation of these grottoes.	face-to-face
OATV304	Art Heritage II	1	1.0	1, 2	FallAB	Tue3	Haruo Yagi	Lecture format (on campus). The lecture will focus on grottoes that were opened in the early Tang Dynasty (618-655), including the Dunhuang Mogao Grottoes and the Longmen Grottoes, which were recognized as World Heritage sites in China. The grottoes will be evaluated by analyzing the grottoes from various angles and comprehensively examining elements such as cave formations, styles and forms of statues, and patterns. Unlike the Yungang Grottoes, which were opened by the state during the Northern Wei Dynasty, most of the Early Tang Dynasty caves at Mogao Grottoes in Dunhuang and the Early Tang Dynasty caves at Longmen Grottoes were constructed by private individuals. This study will examine the purposes for which people built these caves during the period when Pure Land Buddhism was prevalent, and how they devised ways to satisfy the needs of these people. Based on the particularities of each grotto extracted from this work, we will cultivate the ability to consider the conservation of grottoes that are suited to the particularities. Through this, students will be able to acquire basic knowledge of representative grottoes of the early Tang period and, based on the evaluation of these grottoes, be able to consider methods of conservation, such as utilization, in relation to their own research	Only for completed the Art Heritage I face-to-face
OATV305	Seminar on Art Heritage	2	2.0	1, 2	FallA	Intensive	Haruo Yagi	Exercise (off-campus). Observe works from various angles at museums such as the Tokyo National Museum, which has a large collection of Chinese Buddhist sculptures and ceramics. Through comparison of the works, students will not only learn about the period and region in which they were created, but they will also be able to consider the purpose of the people who created them by looking at the actual objects. At the same time, they will deepen their own understanding of the works by considering and understanding the intentions of the curators who planned the exhibition and what they emphasized in displaying the works.	Only for completed the Art Heritage I 10/2-10/4 face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV306	Conservation Science	1	1.0	1, 2	SprC	Thu4, 5	Toshiya Matsui	This lecture will discuss the history of conservation science, the state of conservation science and technology, and research methods, and will explain the conservation environment surrounding cultural properties, deterioration phenomena, and methods of conservation measures based on conservation and restoration case studies. The aim is to establish diagnostic methods for the deterioration and damage of heritage sites and artworks, and to develop a perspective that considers the overall evaluation of the diagnostic results in conjunction with the location environment and the skills of the people in charge. In terms of practical treatment techniques, students will acquire the ability to scientifically identify problems and their solutions in view of future social and environmental changes.	face-to-face
OATV307	Seminar on Conservation Science	2	2.0	1, 2	SprC, Sum Vac	Intensive	Toshiya Matsui	To conduct conservation science research on target cultural properties by organizing issues obtained from surveys on the state of utilization and management of conservation objects and the involvement of local residents. Practical training using survey equipment will be provided on material analysis methods, structural survey methods, and conservation environment survey methods, which form the basis of conservation science research, with the aim of comprehensively examining their analysis and evaluation together with research results in related fields. In addition, under the guidance and advice of experts, on-site practical training in conservation science will be conducted at World Heritage sites and other archaeological sites and museums to further develop the acquired skills and abilities.	Only for completed the Conservation Science face-to-face
OATV401	Project Development and Management of Heritage Sites	1	1.0	1, 2	SprA	Mon4, 5	Yasufumi Uekita	The course evaluates the historical value of heritage sites, discusses methods of conservation and environmental improvement of heritage sites, and examines the social protection system, methods of conservation of archaeological sites and buildings, and utilization plans for local redevelopment projects. The aim of the education is to learn the basic ideas for planning and carrying out appropriate conservation and management of cultural heritage through an understanding of the protection system and heritage values, with a focus on cultural heritage. The objectives of the course are to understand the laws and regulations of the heritage conservation system, to understand examples of conservation plans, to be able to evaluate the historical and social value of heritage, and to be able to propose methods of utilization suitable for the requirements of the heritage. The issues of heritage restoration and international cooperation will be discussed on the basis of case studies, and emphasis will be on training professionals who can deal with the issue of regional rehabilitation using heritage sites.	face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV402	Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites	2	2.0	1, 2	SprABC	Intensive	Yasufumi Uekita	In this seminar, attendees will be provided with examples of heritage conservation and utilization of archaeological sites and historic preservation areas, and will learn how to plan for the conservation and utilization of heritage by observing conservation projects, community revitalization, and tourism projects. The seminar's objective is to provide participants with examples of heritage conservation and to analyze specific methods of heritage conservation using laws, ordinances, and the conservation system of conservation planning buildings as a starting point. The participants will also be able to analyze the situation of conserved heritage sites and to propose solutions to conservation problems and methods of utilization.	4/17, 4/24, 5/15, 5/22, 5/29, 6/5
OATV403	Conservation of Cultural Landscape	1	1.0	1, 2	SprAB	Tue4	Nobu Kuroda	This lecture will provide foundational knowledge on cultural landscapes, a relatively new concept in heritage studies. Topics will include the evolution of the landscape concept, debates and the current status of cultural landscapes in World Heritage, the definition and protection of cultural landscapes in Japanese cultural property law, the relationship between landscapes and society, and case studies on the evaluation and conservation of cultural landscapes. The lecture will highlight the unique characteristics of cultural landscapes compared to other forms of cultural heritage. Through discussions with students, the course will encourage critical thinking about the ambiguity of cultural landscapes and the challenges involved in their protection.	face-to-face
OATV404	Heritage Tourism	1	1.0	1, 2	FallAB	Mon4	Hiromu Ito	The lecture will provide an overview of the terminology, significance, historical and current issues, and planning theories related to tourism, and at the same time, will organize ideas for evaluating cultural resources and natural environments that are the target of tourism, not limited to World Heritage sites, designated cultural properties, natural parks, and other institutional evaluations. The lecture will discuss the concept of tourism that continues to make the most of nature and culture, which are required to be used and protected at the same time in a sustainable manner, as well as the methods and approaches of tourism and the development of tourist attractions based on them, taking up specific examples and considering the effects and issues involved.	face-to-face
OATV405	Seminar for Preservation of Cultural Heritage	2	3.0	1, 2	SprC, FallAB, Sum Vac	Intensive	Hiromu Ito	Through group work, participants will experience a series of tasks from organizing issues, establishing themes, and developing a draft plan for a specific resource and the surrounding environment over a wide area, in order to understand the concept of the plan, the work flow, and evaluation methods. The participants will understand the concept of planning, work flow, and evaluation methods. In addition, progress report meetings will be held each time, allowing students to experience how to present their ideas and arguments in an easy-to-understand manner to others and how to discuss the draft plan.	24 July, 1pm: 9/8-10 (local: Shirakawa and Gokayama (3 days/2 nights)): 10/5, 10/19, 11/2, 11/16, 11/30, 12/7 (all after 5th period on Monday). face-to-face

Course Number	Course Name	授業方法	Credits	Standard Academic Year	Course Offering Term	Weekday and Period	Instructor	Course Overview	Remarks
OATV406	Heritage Interpretation	1	1.0	1, 2	Fall/AB	Intensive	Satomi Mitsui	Learn about the academic background and concepts of interpretation to communicate the value of natural and cultural heritage. The class will use the University of Tsukuba as a case study site to improve your interpreting skills through field study and presentations.	face-to-face
OATV501	Internship in the Field of Heritage (Short-term)	3	1.0	1, 2	Annual	by appointment	Ichita Shimoda, Mariko Ikeda, Yasufumi Uekita, Nobu Kuroda, Haruo Yagi, Toshiya Matsui, Hiromu Ito, 義彦 飯田, Tokihisa Higo, Satomi Mitsui, Kiyoto Sawada	Interns are required to undertake on-the-job training at administrative bodies, corporations and sites involved in the conservation and utilization of heritage sites, and to learn on-the-job know-how. Typical internship sites include administrative and consulting institutions, research institutes, TV stations, museums and art galleries, etc. related to World Heritage conservation. In selecting an internship placement, the relevance to the subject of the master's thesis research should be taken into account. The results of the internship are evaluated taking into account the evaluation by the training organization. The duration of intern is about 1~3 weeks.	Japanese language operational skills may be required. (For English speakers)